

## 6月26日(火) マラヤ大学生が来校

## SSH関連

昨年に引き続き、マレーシアのマラヤ大学から引率教員1名と40名で来日し、そのうち20人が本校に、引率教員1名と20名は県立国際高等学校に分かれて、訪問を受けました。彼らは、今後マレーシア政府から留学生として日本の大学に派遣され、帰国後はマレーシアの理工系人材の中核となることを期待されている人たちです。

平成28年、29年の2年間は、本校国際交流基金委員会の支援を得て、本校から引率教員2名、生徒10名をマレーシア研修に派遣し、現地でマラヤ大学生と交流をしています。今年度からは、訪問を受けた際に本校で交流することとしたものです。

今回の訪問では、1年9組の「科学英語」の授業と一緒に参加してもらい、班ごとに共同して実習を行いました。テーマは、「エッグドロップ」で、高いところから落としても中の卵が割れない構造物を制作するというものです。惑星や衛星への着陸船のイメージです。



与えられた材料



構想中



英語でコミュニケーションをとりながら共同で制作



講堂棟と保存棟の間で実験

卵が割れないことと下のシートの中心からの距離で、班ごとに競いました



ダンスの披露など交流の様子